

佐伯地区医師会

## 小学生になってからの 予防接種で健康に

小学生になる前に「MR(麻疹風疹)ワクチン第2期」は接種しましたか？  
忘れての方は必ず接種しましょう。

「日本脳炎」は蚊(コガタアカイエカ)が媒介するウイルスで起こる病気で、夏から秋にかけて流行します。発症すると高熱・頭痛・嘔吐・意識障害やけいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。約50%に知覚障害や運動障害を残し、約15%は死亡するとされています。9歳になったら第2期の接種を受けることができますので忘れずに接種しましょう。過去に積極的勧奨が差し控えられていたため平成17年4月2日から平成19年4月1日に生まれた人の中で規定の4回接種を受けていない人は20歳に達するまでであれば残りの回数を定期接種として受けることができます。

11歳になったら「二種混合ワクチン」を受けてください。これはジフテリア、

破傷風に対する追加接種になります。

中学1年生になった女子には「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン」があります。これは子宮頸がんをひきおこすHPVの感染を予防するものです。現在、接種後に認められた持続的な疼痛について再評価が行われており、接種の積極的な推奨は延期されています。ただし定期接種を中止するものではありませんので希望者は接種を受けることができます。

これらの感染症に対しては、特效薬がなく予防をしていくことが大切になります。これからも正しく予防接種を行い、お子さんの健やかな健康を守っていきましょう。

JA広島総合病院  
小児科 吉野修司